

夏の幼稚園

東京市京橋昭和幼稚園 白根美智子

○
番町幼稚園で始めて「夏の幼稚園」をお催しになりました。それから漸く三年。その僅かな間に「夏の幼稚園」といふ言葉は、若葉の頃から同じ道行く者が集る毎に話題となり、研究されて、一年毎に其の数を増し、今年は京橋区内だけでも四つの公立幼稚園で所謂「夏の幼稚園」を催す事になりました。

當園は文化の華咲く所と云はれる繁華な都の中心に地を占めて居ります爲、附近には小公園はおろかほんの小さな空地さへ見られず、遊び場所を持たない子供達が往々痛ましい犠牲となりますのを平素から本當に歎かはしう存じて居りました上、園児の家庭の殆ど全部が年中忙がしい商家

で、子供の爲に海へ山へと出掛けるいとまの無い家が多く、又一般に買喰の悪癖間食が大層多く、幼稚園に行つてゐる間は身體の調子がよいのに、お休みになると直お腹をこわすといふ聲を始終耳にして居りますので、昨年試みに夏の幼稚園を催しました處、保護者の方々から大層喜ばれたのに力を得、本年も又催しましたのでございます。

同じ「夏の幼稚園」とは申しながら番町のなどに比べますと夏の幼稚園と名づけますのさへおこがましい程度のものでございますが編輯部からのお勧めもあり、又是非先輩諸姉の御批評、御指導を仰ぎ度いと存じまして書かせていただく事に致しましたのでございます。

昨年は八月十日から同二十九日迄三週間致しまして最後の日には保護者の御來園を乞ひ色々御意見を伺ひましたところ、

一、期間が少し長過ぎる様に思はれる。

二、もう少し早くから始めて早く切上げ、秋學期迄に相當日數を置いていたゞきたい。

等の希望がありましたので、本年は七月上旬開催に先だちお母様方のお集りをいたゞき、期間、時間、會費等の點を色々協議致しました。その結果

一、期間 七月二十五日より八月六日迄二週間

註 イ、あまり期間が長過ぎると途中で海や山へ

出かける様になるから見合せようといつて参加しない人がありはしないか。

ロ、切角子供が夏休み夏休みといつて楽しんでゐるから四五日お休み氣分を味ははせず、家遊びに飽きた頃から始めるのが適當ではないか。

ハ、あまり長く間を置くとはじめ一寸おつくうがる子がありはしないか。

等の意見を總合して決めました。

二、時間 午前八時より十一時迄

もつと朝を早くといふ意見もありましたが、又その方が望ましい事ではありますが、實際は環境上どんなに親が氣をつけても夜更かしし勝ちだからといふので八時に致しました。

三、會費 六拾錢 間食代 水遊び玩具 其他雜費

(夏の幼稚園の爲の經費は此の外には一錢もございません。)

扱て、募集して見ましたら園兒總數八拾餘名中參拾六名の申込がありました。此の中四名は何處へも行かない積りで申込んだものの本年は殊に暑さが酷しうございました爲避暑に出て、一日も出席致しませんでした。比の他も大抵期間中に一度は一日二日の涼を求めて近海へ出かけましたので大抵一日參拾名足らずの出席でございました。

次に一日のプログラム。

朝。自由あそび

八時前後にはみんな海水着、海水帽の入つた袋を提げ、中には大きなうきわや水上ボールを持つて陽に焼けた血色

のいゝ頬を輝かせて門をくゞつて参ります。「お早う」がすむと直ぐシャベルやざるを持つて砂場へ馳け出す、お池の前で水鐵砲をする、日蔭で本を讀んで貰ふ、昨日の續きの積木に飛んでゆく、みんな夢中になつて暑さを忘れ、いつもは小學校のお兄様お姉様で一ぱいの運動場を今日こそは我が物顔に遊ぶ、遊ぶ。中には「先生かけっこしよう」と汗みづくの先生を、反射の強いアスファルトの運動場へ引張り出す兒もあります。一走りして玉の汗を拭く間も待たず「先生もう一度」「もう一度」

かうして一しきり遊んだ頃遊戯やお話を致します。

水 遊 び

九時少しまではつて漸く陽射しが強くなると待兼ねた水遊び。屋外のプールでしたら申分ないのでございますが、當園では屋内のシャワーバスを使ひます。廣さは保育室より少し狭い位。三十分程水を出し放して置いて漸く子供の膝迄位になります。もつともつと澤山、せめて一尺五寸位の深さにと思ひますが、毎日全部水を取換へますのであまり贅澤は申されないのでございます。

水遊び！ 今迄のどんな遊びでもこれ程すべての子供達

を喜ばせ夢中にしたものはなかつたでせう。

つまらないゴム製の玩具もほんとうに喜んで迎へられました。けれども餘程氣を付けませんと子供は唇が紫色になつても尙出ようとは致しません。それで始めの日に、一寸（一人一人に就いて保母が時間をはかつて約二分）入つたら必ず日向に出て充分身體を温め、又はいる。こうして一日三回迄を嚴重に約束して置きました。最初はぬぎ着が大變でございましたが二三日たちますとお友達同志ボタンをかけて上げたりかけて貰つたりで、それすら水あそびの一つの楽しみとなつた程でございました。

水から出ますと乾いたタオルで身體中を摩擦してやります。萬邊なく汗知らずをつけてやります。

その間に一人の保母は女兒に手傳はせて皆の海水着を洗ひおやつの間を陽にあてて雫をきつておきます。かうして暫らく御本を見たりお話をしたりして靜かに遊びます。

間 食

水あそびの興奮に軽い疲れを覺えた子供達。

軽いオセンベイ一枚にキャラメル二つ、又は玉子パン一個にドロップス三つ位の本當に軽い間食をどんなに喜んだ

事でございませう。銘々皿洗ひも楽しみの一つ。暑い時でございませうから選擇は餘程吟味しほんの少しに一回一人参錢位をあてました。

お菓子をいたゞきながら昨日行つた海のはなし、田舎からのお客様の話などが亂れ飛びます。話し中に思ひ出してか大急ぎで喰べ終つて、黒板に走り、見て來た海を、山を畫き始める子供があります。

みんな「御馳走さま」が濟むと恰度十一時。

お 歸 り

「さよなら」「またあした」

今年はお天氣に恵まれて來る日も來る日も快晴、快晴。毎日こんな事を繰返して居りました。でも少し曇りで水あそびを止めた日が三日。その三日の中の一日は屋上のテントの中で過し、一日は運動場の一隅のよしづ張りの日覆の下で人形芝居に興じ、一日は木蔭で樂隊遊びに水を忘れて過しました。又或る日は大盥に入り切らぬ程大きな氷を戴いて歡聲をあげた事もございました。

夏の幼稚園の爲の經費が少しでも有り、又私共三名の保

姆の他にもう少し人手があつて、期間中に一度でも外へ連れ出す事が出來たらどんなに子供達も喜んだ事だらうと思ひますが色々な點で、本年は實行出來ませんでした事を大變残念に存じて居ります。

夏の幼稚園は「樂しかつた」の一語に盡きる様に思ひますけれど、でも床に入りましてから「今日水からあがつた時K子ちゃんの身體が少し冷たかつた様だつたけれど冷え過ぎではなかつたかしら」等と考へますと心配でおち／＼眠れない事もございました。幸ひ昨年も今年も一人も病氣にならず無事に濟みました事を、心から感謝致して居ります。園醫の原田先生がお忙しい中を屢々お訪ね下さいました色々御心配下さいました事はどんなにか心強く嬉しうございました。

平素の保育とは何かしら違つた、楽しい本當に充實した「夏の幼稚園」生活を思ひます時、もつとく長くしてゐたかつた！ としみじみ思ふのでございます。

今も蒼い蒼い空を眺めて今迄はあまり考へても見なかつた夏休み中の子供の生活の一面、「水と戯れる姿」をほゞえましく想ひ浮べて居ります。

(昭和七、八、十五)